

授業科目	疾病治療概論	2 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	齋藤重幸 (保健医療学研究棟 E203 号) e-mail : ssaitoh@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	「看護とは、あらゆる場であらゆる年代の個人および家族、集団、コミュニティを対象に、対象がどのような健康状態であっても、独自にまたは他と協働して行われるケアの総体である。看護には、健康増進および疾病予防、病気や障害を有する人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。また、アドボカシーや環境安全の促進、研究、教育、健康政策策定への参画、患者・保健医療システムのマネージメントへの参与も、看護が果たすべき重要な役割である。(国際看護師協会：2002 年：日本看護協会による訳)」医療の場で行われている診断・治療の知識を習得することは、対象者に即した援助を行う上で不可欠の基礎的内容である。本講座では、医学的な治療とは何か、診断はどのような過程を経て行われるのかなど、診断・治療に関する医学的知識を概説し、疾病治療論 1～4 で種々の疾病や治療を学ぶ基礎となる診断学、治療学の基本的な知識の習得を行う。		
到達目標	1. 診断・治療の概念を理解する。 2. 治療法の種類とそれぞれの特徴を理解する。 3. 運動療法、食事療法、薬物療法の基本と具体例を理解する。 4. 輸液療法、輸血療法、血液浄化法、放射線療法、遺伝子療法、再生医療の基本と具体例を理解する。 5. リハビリテーション、代替療法、緩和ケアの基本と具体例を理解する。 6. 診断・治療を受ける人々に対する看護の役割を考える。		
関連科目	疾病治療論 1～4、看護診断学等臨床系科目の総論・入門にあたる科目である。		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	試験	50%	
	小テスト	25%	
	講義態度	25%	
教科書	①小松他 [2020 年] 「系統看護学講座 成人看護学 1 成人看護学総論」 医学書院		
参考書	①石松他編 [2019] 「病態治療総論」 南江堂		
履修上の留意点	成人、高齢者における治療学総論として実施する。疾病治療論 1-4、薬理学、栄養学と連動して行う。総論としての外科療養は疾病治療論 2 で講義される。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	疾病と治療：治療の目的、方法、種類	事前：教科書該当部分の予習 事後：講義資料の復習	講義	齋藤
2	一般療法① 食事療法の理論、実際、看護との関連	〃	〃	〃
3	一般療法②運動療法の理論、実際、看護との関連 一般療法③嗜好に対する介入：理論と実際、看護との関連	〃	〃	〃
4	薬物療法①：薬物療法の原則、方法、実際	〃	〃	〃
5	薬物療法② 代替療法	〃	〃	〃
6	輸液療法、輸血療法、血液浄化法の目的と方法	〃	〃	〃

7	放射線療法、遺伝子療法、再生医療の目的と方法	〃	〃	〃
8	リハビリテーション、代替療法、緩和ケアの基本と具体例	〃	〃	〃